

ESD通信 No. 6 平成28年2月23日発行

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —



新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課
tel (0897) 65-1301

2月14日(日)に開催した第1回教育フェスティバルにご参加いただいた方ありがとうございました。おかげさまで、無事今年度のESD成果発表会を終えることができました。この会の様子は次回「ESD通信 No.7」において、ご報告させていただきます。今回は他県のユネスコスクールの取組として、ESD先進校である東京都江東区立八名川小学校にて、1月26日(火)に開催されたESD成果発表会「八名川まつり」についてお知らせします。報告者は中萩小学校 神野正秀先生、高津小学校 藤澤由佳里先生、金栄小学校 今村和人先生です。

ESD成果発表会「八名川まつり」に参加して

「八名川まつり」とは、「生活科」や「総合的な学習の時間」を中心に取り組んだESDの視点に立った学習活動における児童の学びや思いを、他学年、保護者や地域に発信する行事です。児童にとっては、これまでの学習で考え、調べ、まとめものを発表する楽しいイベントのように感じました。自分たちの学びをもとにプレゼンテーションするコーナーを開き、発表したり聞いたりします。伝えることが楽しい、聞いて考え意見を交流することが楽しいという思いが会場全体から伝わってきました。

「世界に発信！成果を発信！目標をもって学び合おう」という全校テーマのもと、「1年 あそびランド」「2年 町のひみつを知らせよう」「3年 食べ物から見える世界」「4年 さがそう！八名川未来遺産」「5年 環境の視点から工業を見直そう」「6年 みんなの力で築こう！元気に輝く町」という学年テーマに沿っての発表が生き生きと行われました。

1年生「あそびランド」

ダンボールで作成したピタゴラスイッチ、画用紙で作成した食べ物カルタ、自作の輪投げ、磁石を使ったさかなつり、ペットボトルボーリング、的あてなど、8つのコーナーに分かれて、身近なものを使った遊びを展開していました。それぞれのお店をPRする役、お店でお客様の対応をする役、裏方役など分担し、来た人が楽しんでもらえるようにそれぞれのグループが工夫し、自分たちも楽しんでいたのがとても印象的でした。

2年生「町のひみつを知らせたい」

町探検を二つの段階に分け(9時間扱い、22時間扱い)、探究を深め、「八名川まつり」での発表に結び付けていました。5月の学びでは町の良さを知り、愛着をもつことをねらいとしています。さらに「もっとなかよし町たんけん」として、地域の人との関わりを深めていました。発表の中でも個人名や〇〇さんの店ということで、子どもたちの学びが深まっていたのが感じられました。聞いていた保護者の方も、時々質問したり頷いたりして発表のブースが一体となって学びを高めていました。子どもたちが自信をもって発表していたのが印象に残りました。



1年生「さかなつりコーナー」



2年生「もっとなかよし町たんけん」



3年生「食べ物から見える世界」

「魚」「牛乳」「いも」「米」「麦」「とうもろこし」…
いろいろな食材に目を向け、それらのよさや、日本と世界とのつながりについて調べ、発表していました。壁新聞や紙芝居にまとめたり、クイズを取り入れたりしながら、分かりやすく伝える工夫をしていました。発表する児童も発表を聞いている保護者や地域の人もとても楽しそうでした。



3年生 発表にも一工夫

4年生「さがそう八名川未来遺産」

「深川神明宮」「八名川小・公園今について」「隅田川」「清澄庭園の見どころ」「松尾芭蕉」など地域の宝となることに焦点を当て、それぞれのグループが調べたいテーマを立て、前半・後半に分かれて発表し合いお互いを高め合う発表会でした。

5年生「環境の視点で工業を見直そう」

これからの日本の工業はエコな視点をもつことが大切だということを学んでの発表でした。秋にお台場で開催された「エコプロダクツ2015」に参加し、自分が調べた企業の取組を発表していました。重化学工業・自動車・食品・住宅等の各グループが役割演技や紙芝居、クイズ等の様々な工夫を凝らしたプレゼンを行っていました。その根底には「学びに火をつける」の段階から、明確な方向性が示されています。昨年度は江東区の温暖化対策が起点となり、カーボンマイナスこどもアクションで学びを深めていました。本年度はさらに、「5年生はCO2削減」というプレゼンテーションを作成し、各グループの学習を自分にできることから、まわりの地域・世界へ向けての発信にまで高めていました。今回の八名川まつりでの発表がゴールではなく、どんな子どもたちを育てたいのかをしっかりと感じる事ができました。

6年生 「みんなの力で築こう！元気に輝く町」

「高齢者」「目の不自由な方」「祭り・人情」「外国の方」「生き物・環境」「妊婦」などのコーナーが開かれていました。テレビ番組風の構成や劇での発表、体験コーナーの設置など相手を意識した分かりやすい表現方法が工夫されており、学年を追うごとに学習の積み重ねによる成果が感じられました。自分たちで考えた改善案を提示し、「わたしたちの町をよくするには」について、参加者と共に考えることができる工夫がなされていました。多くの人の前で発表する姿は堂々としていて自信に満ち溢れているようでした。



4年生 地域の宝をアピール



5年生 自分たちの手でCO2削減を



6年生「わたしたちの町をよくするには」

視察を終えて

これからの社会を生きる子どもたちは、「自ら課題を発見し、解決する力」「コミュニケーション能力」「物事を多様な観点から観察する力」「様々な情報を取捨選択できる力」などが求められると考えられます。ESDで育む力とは、「批判的に思考・判断する力」「未来像を予測して計画を立てる力」「多面的・総合的に考える力」「コミュニケーションを行う力」であり、まさにESDの目指すところが、これからの社会を生きる子どもたちの「生きる力」と重なります。楽しい授業とは、体験を通して学んだり、自分で不思議だと思ったことを勉強したり、友達と共同して勉強することです。今回の子どもたちの発表会を見て、ESDの活動を通じて、子どもたちに自己肯定感や有用感が育っていることを実感しました。